

Library Navigator



図書館長からのメッセージ〜新入生に贈る言葉



ご入学、おめでとうございます。

立命館大学の新しい環境の中で、これから皆さんは高度な専門教育を受けて行かれることになります。まだ見ぬ知の体系への探索だと言えるかもしれません。しかし学ぶ内容が高度になればなるほど、自発的な取り組みなくしてその成果を上げることはできません。講義で得た知識を確かなものとするために、また演習で出された課題を遂行するために、自分で考え自ら学ぶということ。そこに、高等学校までの勉強とは異なる、大学での学びの本質があります。そして、そうした自発的学習・能動的取り組みの拠点となるのが図書館にほかなりません。

蔵書295万冊。本学の図書館には、1900年の開学以来、時代状況の変化に伴い、学問研究の発展に合わせて、さまざまな書物が収蔵されてきました。図書館は、知識と知恵と経験の宝庫です。図書館に入り、整然と並べられた書架の本を1冊また1冊と開いてみられたら分かりましょう。そこにいかに豊かな知識と経験が蓄積されているかが。また実際に入館しなくとも、ネットワークを介して図書館サイトにアクセスしてみれば、構築された検索システムと利用可能な種々のデータベースを通して、そこにいかに膨大な情報が集積され、図書館内外のいかに広範な情報源につながっているかを知ることができるでありましょう。

しかし図書館は今、それ自体大きな変化の中にあります。

本学では、衣笠図書館の建て替えを計画しています。そして、時代の要請に合った新しい図書館のあり方を模索し、「ラーニング・コモンズ」という基本のコンセプトの下に、すでに部分的に試行してきているところもあります。知の修得と発展に向けた、学びの共有資産にするということです。

情報化社会の動きに対応し、本学では昨年度、DiscoveryServiceという新たな 文献検索システムを導入しました。それにより、デジタル情報を含む多様な文献 資料に大学の枠を越えてアクセスすることができます。また、学生諸君のグルー プワークを支援し、能動的・協働的な学習活動を行うことができるようなスペー スを図書館の中に設けてきています。そしてさらに、校友や近隣市民の利便をは かり、大学図書館の社会的開放化を進める仕組みもつくってきています。

この図書館を、大学における学びの1つの重要な拠り所として、学部・研究 科の枠を越え、ぜひ積極的に活用していただきたいと思います。

法学部教授 図書館長 平野仁彦

特集1 大学図書館、その魅力に迫る

図書館は 創造的な 学習空間

立命館大学の図書館は、1905(明治38)年に私立京都法政大学 (立命館大学の前身)に設置された図書室を起点とし、立命館大学 とともに発展してきました。現在3つのキャンパスに6つの図書館 があります。

図書館 基礎 データ

- 図書資料:約295万冊
- ●雑誌タイトル数:約4万2千タイトル
- ●視聴覚資料:約5万件
- ●電子ジャーナル:約6万6千タイトル
- ●年間入館者数:約230万人 ●年間貸出冊数:約60万冊

図書館の4つのミッション

- 1 学術情報基盤としての図書館
- 2 知的探求・コミュニケーションの場としての図書館
- 3 研究を支え、成果を発信する図書館
- 4 学生の学習と成長を支援する図書館

衣笠キャンパス

衣笠図書館

人文科学・社会科学分野の学習資料を 中心に所蔵







修学館リサーチライブラリー

社会科学分野と外国語関係の 研究資料を所蔵





衣笠キャンパス

人文系文献資料室

人文科学分野の研究資料を所蔵





びわこ・くさつキャンパス

メディアセンター

理工学・情報理工学・生命科学・ 薬学分野の資料を中心に所蔵





びわこ・くさつキャンパス

メディアライブラリー

経済学・経営学、スポーツ健康科学 分野の資料を中心に所蔵





朱雀キャンパス

朱雀リサーチライブラリー

法学・経営学・行政学分野の資料を所蔵





大学図書館 Quick Search



立命館大学図書館では様々なサービスを提供しています。

図書館の基本的なサービス(資料の貸出・返却など)に加えて利用できるサービスを紹介します。

探している資料が 図書館にあるか確認するには…

統合検索システム「Discovery」や 蔵書検索システム「RUNNERS」で 確認できます。



所属している資料などをリアルタ イムに表示します。





RUNNERS Discovery Serviceは、立命館大学図書館蔵書をはじめ、CiNii、 国内リポジトリ国立国会図書館の雑誌記事索引、PudMed、EBSCOhost その他多くのデータをまとめて検索できます。





資料や参考になる情報の探し 方が分からない

レファレンスサービスカウンターで 相談してください。

学習・研究の参考になる情報の探 し方、探している情報を扱ってい る機関や、文献を探すお手伝い、 データベースの利用案内などのサ ポートを行っています。



自宅で情報検索の方法を 学びたい

図書館ホームページの オンライン学習ツール「RAIL」を 使って学ぶことができます。

情報検索のオンライン学習ツール 「RAIL」は、雑誌論文などの検索 方法だけでなく、インターネットで 得た情報の危険性や、レポートへ の文献引用方法など、情報検索 の基礎を自分のペースで学ぶこと ができます。



他大学の図書館を 利用したい

他大学の資料を取り寄せたり、 他大学の図書館を訪問して利用する ことができます。



■ 他大学資料の取り寄せ

<資料借用>

図書館が資料を他大学から一定の期間借用し、

本学図書館内で閲覧することができます。

<文献複写>

資料のうち必要部分について複写を申し込むことができます。

* 各館カウンターまたはMyLibraryから申し込みができます。

■ 他大学への訪問、資料の利用

利用したい資料が本学にない場合は、その資料を所蔵している他の大学・研究機関の図書館へ閲覧に行くことができます。

<他大学との協定システム>

- 関西四大学図書館相互利用協定
- 大学コンソーシアム京都共通閲覧システム
- 私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会
- 滋賀県大学図書館連絡会共通閲覧システム
- 環びわ湖大学コンソーシアム
- * 各館カウンターから申込みができます。

授業の予習や準備が<u>したい</u>

図書館ではシラバスに記載されている 教科書や参考書、語学書を 購入しています。



オンラインシラバスに掲載している教科書・参考書の書名をクリックすると、「RUNNERS」にリンクしています。

所蔵していない資料の 購入希望

衣笠図書館・メディアセンター・ メディアライブラリーで 購入希望を受け付けています。 利用したい資料が本学にない場合は、 のアイコン、「MyLibrary」、メール、または各館備え付けの用紙から購入希望ができます。購入希望された資料は収書基準に基づいて購入可否判断しています。

自宅から資料の返却期限の 確認や資料の購入希望などを 行いたい

図書館ホームページの「MyLibrary」を使って返却期限の確認や今まで自分が借りた本の確認などができます。



「MyLibrary」は、インターネットを通してアクセスできる資料・検索ツールなどを自分の勉強部屋のように整理しておけるWeb上の図書館です。

次世代型図書館空間

仲間とともに主体的で創造的な学びを促します。 これが「ぴあら」(Peer Learning Room)です。



「ぴあら」は、2011年に衣笠図書館、

2012年にBKCのメディアライブラリーと

メディアセンターに開設しました。

「グループワーク」ができるフリーエリア

ぴあら内は話をしても大丈夫です。

テーブルやイスは人数に合わせて移動して使うことができるので、何人で集まっても 対応が可能です。リラックスした環境で仲間と協力しながら学習を進めていくことができます。 図書館館内にあるので、図書館の資料を使うこともできますよ。





活発な「ディスカッション」を サポート

ディスカッションエリア

持ち寄ったデータを大型ディスプレイに映し、グループで討論を重ねながらブラッシュアップしていく空間です。

ホワイトウォールエリア (メディアセンターのみ)

頭に思い描いた数式・図式を広いホワイトボードに 書き出し、複数のメンバーで共有し、議論すること ができる空間です。



「学習支援ツール」を 利用できる

「びあら」では大型ディスプレイ付パソコンや大型スクリーン、プロジェクター、ホワイトボード、フリップチャート、スキャナ、プリンターなど様々な機器を利用することができるので、ディスカッションするだけでなく、その場でグループで協力して資料の作成が行えます。





図書館はただ本を借りるだけ、あるいはそこで静かに調べ物や学習をしたりするだけの場所だと思っていた人が多いのではないでしょうか? 従来の「静かな学習空間」という図書館の概念を覆す空間。それが「ぴあら」です。

「ぴあら」では、仲間とともにディスカッションを行ったり、プレゼンの練習やセミナーを行ったりできるダイナミックで能動的な 学びの空間です。場所だけでなく、学習に必要な設備、機器類やその他の学習サポートも行っています。ぜひ主体的、創造的な 学習の場として大いに活用してください。



「プレゼンテーション」の 練習ができます

作り上げてきた成果を発表することで、プレゼンテーションスキルの向上をめざす空間。可動式の机・椅子、プロジェクタ、スクリーンなどの機器を配置しています。

「ファシリテーション」を

開催できる(メディアライブラリーのみ)

グループワークが円滑に進められるように設定された空間です。





海外の新聞が閲覧できる大型の

「タッチパネルディスプレイ」も設置

97の国、地域の約2,200の新聞の閲覧ができます。オンラインでほとんどタイムラグなく新聞の紙面をめくるように閲覧でき、日本語を含む11言語への翻訳や、興味のある記事を自分にメール送信できる機能も備わっています。

詳細は、「ぴあら」ホームページをご覧ください。

ぴあら

検索

学習支援

図書館各館の「ぴあら」内では、以下の学習支援も行っています。

ライティングサポート(衣笠図書館・メディアライブラリー)

論文・レポートに対するさまざまな疑問を相談シートに基づき、対面指導を実施しています。

数学相談会・物理駆け込み寺/化学・生物駆け込み寺(メディアセンター)

「授業の復習がしたい|「授業の内容についていけない|

「授業に使われている専門用語や公式の理解を深めたい」などそれぞれの学生の

ニーズに応えるよろず質問・相談所です。

※実施日時や内容の詳細は、理工学部ホームページ、又はメディアセンター内「ぴあら」入口掲示をご覧ください。

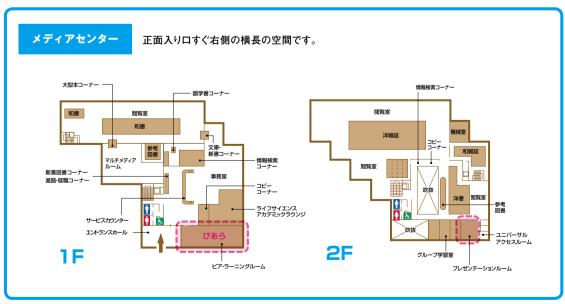


衣笠図書館 図書館に入ってすぐ左側ガラスの扉の部屋です。 新着雑誌コーナー ΕV 新聞縮剛版 作業室 事務室 レファレンス カウンター 証紙券売機 ▲ スタンドアローン CD-ROM検索コーナー カード目録コーナー <u>B</u> レファレンス RUNNERS検索機 CD-ROM (LAN対応) 検索コーナー コピーコーナ (1.2.3階) 特別閲覧室—— インフォメーション カウンター PIN OUT ピア・ラーニングルーム ユニバーサル・アクセス・ルーム

各図書館ぴあらMAP

「ぴあら」は どこにあるの?





**** 学生ライブラリースタッフの紹介

学生ならではの提案や実行力で、様々な活動をしている学生たちが、学生ライブラリースタッフです。利用者である学生の視点と図書館のスタッフとしての視点を生かし、より良い図書館サービスを目指して、日々がんばっています。



学生ライブラリースタッフから 新入生へ贈るメッセージ





浜田 紳吾 文学部 人文学科 2回生

私たち学生ライブラリースタッフは図書館の快適な学習環境や利用者の皆さんの学びを支援しています。例えば、利用者の皆さんが読み終わった本を元の場所に戻し、書架を整理したり、本の活用方法に関するガイダンスを実施したり、本の紹介などの広報活動も行っています。より良い図書館を作っていくために学生ライブラリースタッフー人ひとりが積極的に考え、話し合って日々活動しています。新入生の皆さんには学びを深める場として、是非図書館を活用してもらいたいと思います。もし、図書館で何かわからないことがあれば館内にいる学生ライブラリースタッフに気軽に声を掛けてください。皆さんのサポートも私たちの大切な仕事です。図書館で皆さんをお待ちしています!



河野 智彦 経済学部経済学科 2回生

学生ライブラリースタッフは、びわこ・くさつキャンパスでは、メディアライブラリーとメディアセンターで利用者が利用した本を元の本棚へ返却(配架)する業務と「びあら」の学習環境の整備を行っています。

他にもお薦めの本や、図書館で行われるガイダンスなどの情報を発信するための図書紹介、ホームページ、広報という3つのプロジェクトチームも結成しています。また、図書館のホームページには、探したい本を検索できるシステム(RUNNERS蔵書検索)だけではなく、データベース上で新聞や雑誌の記事が読めるシステムなど、便利な機能がたくさんあります。私たちはガイダンスの講師として、学生のみなさんに、そういった情報を伝える役割もしています。図書館のことで分からないことがあれば、気軽にライブラリースタッフに声を掛けてください!



学生時代に読んでおいて欲しい1冊 ~学生ライブラリースタッフからの推薦図書~

Contents ①本人情報 ②書誌情報

ふだん、本と接する機会の多い学生ライブラリースタッフから、皆さんにお薦めの一冊を紹介してもらいました。



「働きたくない」という人や、自 分の将来に不安がある学生は 多いと思います。何か悩んでい る時こそ特に難しい、「"自分" のことを肯定する」ということを 素直にできるように導いてくれ る本だと思います。

①河野 野の花さん 産業社会学部 現代社会学科 2回生 ②『「働きたくない」というあなたへ』 山田ズーニー 著 (河出書房新書) 2010年



①上村 恒太ん

政策科学部 政策科学科 2回生 ②『砂漠』

伊坂幸太郎著(新潮社)2010年



描かれた理想のまま向こう見ずに 走りだしたキャンパスライフも、すれ違 う人ぶつかる人によって彩りは増し、 行き先定まるか迷走極まるかはあな た次第。それぞれ魅力的な5人の登 場人物の大学生活を通してそんなこ とを教えてくれる一冊。





①浅野 咲さん 文学部 人文学科 2回生

②『大学生になるきみへ 一知的空間入門』 中山茂著(岩波書店)2003年

学ぶことの意味とは何でしょう。大 学での学びとはこれまでとは一味違い、 自ら問い、考え、追求することです。大 学という新しい知的空間でこれから新生 活を送るみなさんにおすすめの1冊です。 この本を手に、学ぶ意味を一度考えてみ ませんか?





大学に入ると自由が多い分、選択肢 も多く自分にとってなにが必要か見極 めなければならない場面が増えました。 限りある大学生の時間を有効に使うた めに重要な決断力を身に付けるヒント をもらえる本なので新入生の皆さんに もぜひお勧めしたい一冊です。

①徳永 栞さん

産業社会学部 現代社会学科 2回生 ②『決断力』

羽生善治著(角川書店)2005年





①山田 野愛さん

産業社会学部 現代社会学科 3回 ②『大学生のための「学ぶ」技術』 常見陽平著(主婦の友社)2012年

私が新入生の 頃は、やりたいこ とはたくさんある のにどうしたらよ いのかわからず

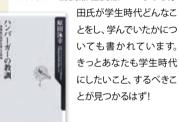


焦ってばかりでした。本書では大学で の講義選びや、正しいレポートの書き 方など大学生活をよりよくするための How to がわかりやすく学べます。新入 生のみなさん、留学や課外活動など大 学でしかできない広い学びに是非挑 戦してください。



- ① 笹部 啓子さん 経営学部経営学科2回生
- ②『ハンバーガーの教訓― 消費者の欲求を考える意味』 原田 泳幸 著 (角川書店) 2008年

皆さんはマクドナルドの強さの秘密 をご存知ですか?本書は日本マクドナルドHD会長兼社長兼CEOである原





生物と無生物のあいだ

この本は、「生物とは 何か」という根源的な問 いを論じています。

例えばウイルスは生物と呼べるのか」「ど のような経緯で生物のシステムは解明さ れたのか」など、平易に解説されています。

研究成果を客観的に評価することにより独自の意見を構築するという筆者の姿勢に、「考える」ということの本当の意義を 学べる本だと思います。

- ① 森 欣順さん生命科学部 生物工学科 2回生
- ②『生物と無生物のあいだ』 福岡 伸一 著 (講談社) 2007 年





- ①宮越 由華さん 経済学部 経済学科 2回生 ②『日本がもし100人の村だったら』 池上 彰著 (マガジンハウス) 2009年
- 先進国であっても、皆が皆同じ水準の暮らしができているとは限りません。 自分はどのような人々の中にいて、他の 人はどのような暮らしをしているのか? 自分自身を見つめなおし、日本社会に ついて一度考えてみませんか。





成功をめざす人に 知っておいて ほしいこと リック・ビティーノ ^{対後日}。

楽をして成功する方法を 扱った書籍はさまざまあり

ますが、本書ではそれらを一蹴して、成功の核心へと迫っています。「成功に値する人」になる、本書のキーワードになっている言葉です。私は挫折しそうになったとき、この言葉を思い出すようにしています。これからの大学生活、延いては社会に出てから成功したいと思っている方は、一読してみてはいかがでしょうか。

- ① 種生 晃さん
 - 理工学部 都市システム工学科 2回生
- ②『成功をめざす人に知っておいてほしいこと』 リック・ピティーノ 著 (ディスカヴァー・トゥエンティワン) 2010年

大学での学びには、自分の考 えやアイデアが必要だとよく言 われますが、それらが自然に出て くることはまれです。この本は、

どう発想するかを理論的に教えてくれる一冊 となっています。小一時間あれば読める量で すが、得られるものは大きいと思いますので、 ぜひ新入生の皆さんは読んでみてください。

- ① 伊藤 優希さん 経営学部 経営学科 2回生
- ②『アイデアのつくり方』 ジェームズ・W・ヤング 著 (阪急コミュニケーションズ) 1988年







"読楽コーナー"学生選書 活動報告

衣笠図書館、メディアセンターにおいて、学生有志による読楽コーナーの学生選書を行い、選書した本を2012年12月17日に展示しました。学生目線で選んだので、読みたくなる本がたくさんあるはずです。ぜひご利用ください。

衣笠キャンパス テーマ「VERY本読みマス」

9名の学生の皆さんが幅 広いジャンルから、様々な 本を選んでくれました。



びわこ・くさつキャンパス テーマ「さぁ紅茶と本をもって…あ、それからハンカチも」

3名の理系学生の皆さんが「愛情」について様々な視点 から本を選んでくれました。



2012年12月14日朱雀キャンパスにて、第8回読書マラソン・立命館コメント大賞の表彰式が実施されました。73通の応募から、生協理事長、図書館長をはじめとする審査員により、グランプリ、準グランプリ、生協理事長賞、図書館長賞等が選ばれました。読書マラソン・立命館コメント大賞は、毎年6月頃から募集を開始しています。ぜひ、ご参加ください。

読書マラソン・コメント大賞とは

読書推進を目的に、全国大学生協が、「4年間で100冊読もう」 をキャッチフレーズに行っている取組みです。立命館大学でも 「立命館コメント大賞」として同時期に実施しています。詳細は、 各キャンパス生協書籍部までお問合せください。

図書館長賞受賞コメント

書名「自分の仕事をつくる」 西村住哲 著 (筑摩書房) 2009年

この本を読み終えるのに、実は丸一年をかけている。1ページずつじっくりと読むことで、この本に登場する人物と 直接向き合っていけた気がする。まるで、著者の傍らで彼らの話をリアルタイムで聴いているかのようだ。

人にはそれぞれの物語がある。特に、仕事はそのストーリー性が高い。なぜその仕事をするのか、その仕事を通じて何を実現したいか、今どんなことに力を入れているか・・・。

仕事を「つくって」いる人には、必ずその人なりの仕事ストーリーがある。「自分の仕事をつくる」ということは、そういった1本の線でつながる各々の個性を表現する過程ではないだろうか。(ペンネーム SUNNY)

2012年12月、衣笠図書館、メディアセンター、メディアライブラリーのグループ学習室に、大型タッチパネルディスプレイを設置しました。この機器を使うことで皆さんの学習効果が高まることを期待しています。



立命館大学 図書館だより — Library Navigator — Vol.115 2013年3月発行: 立命館大学 図書館サービス課 〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

元 1 - 公司 1 - 公